

こくりにゆうだより



(※絵ハガキプロジェクトに寄せられたイラストです。)

外国人のための 剣道体験

2/16(金) 13:00~
14:30

竹刀や木刀を使って剣道を体験する。

要申し込み・先着20名

対象:外国人・外国にルーツを持つ人

参加費:無料

おまつり地球一周クラブ ~チョアチョアコリア・ お正月編~

2/25(日) 10:00~
12:00

韓国出身の講師から韓国のお正月のお話を聞き、料理作りを体験する。

対象:小・中学生

2月20日(火)までに要申し込み・先着10名

参加費:400円

外国人のための 確定申告相談会

2/16(金) 13:30~
15:30

税理士による税金の個別相談会。英語・韓国・朝鮮語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、スペイン語、ポルトガル語、ネパール語の通訳あり。

要申し込み・先着6名

参加費:無料

居場所の可能性

~富山・ひとのまの
実践に学ぶ~

2/26(月) 14:00~
16:00

不登校の子やホームレスの生活支援など幅広い相談を受け入れているコミュニティハウスひとのま共同代表・宮田隼さんと支援について考える。

要申し込み・先着40名

参加費:無料



協会では、多くの人に取り組みについて知ってもらうこと、また集まった人の間で交流を深めてもらうことを目的に昨年から新春の集いを開催しています。

今年は1月28日（日）の開催。年が明けてほぼ1か月、しかも日曜日…。どれだけ参加があるか不安でしたが、約150人が参加。すてっぷホールは熱気であふれ返りました。

プログラムは開会のあいさつ、協会の事業報告から始まり、ベトナム総領事館総領事ブ・トアン・ハイ様、領事キエウ・マン・リン様、ロシア総領事館領事シュベツォワ・エレナ様、韓国領事館領事崔哲豪様、豊中市長浅利敬一郎様、市会議長福岡正輝様ほか多くの方からご挨拶をいただきました。

多文化パフォーマンスでは大阪龍獅団による中国の獅子舞、D Victorious Single Momsによるフィリピン・ショー、マンリイケ・マリゴルダ・ミルドレ・ピエリーナさんによるペルーのダンスで大盛り上がり。見ている側も手拍子や歓声、写真撮影に大忙しでした。また、フィリピン、韓国、ベトナム、ペルー、日本の料理もおいしくいただきました。

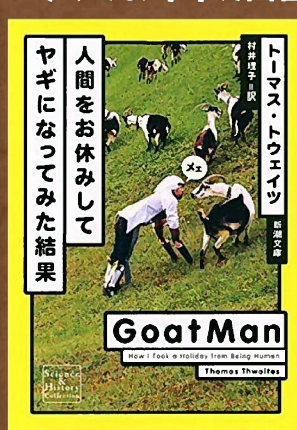
最後に新たな取り組みとしてお楽しみ抽選会を行いました。市内関係団体や個人、エトレ豊中に入っている店舗から「そういう趣旨であれば！」ということで無償で提供してもらった景品はざっと50人分。これも多いに盛り上がりました。

多くの方とのつながり、サポートのありがたさや多文化共生のまちづくりに対する関心の高まりを感じた一日でした。ご参加いただいたみなさま、ご協力いただいたみなさま、本当にありがとうございました！



『人間をお休みしてヤギになってみた結果』(トーマス・トウエイツ著、村井理子訳・新潮文庫)

スタッフおすすめ図書



叶わない夢を抱くのは、今も昔も人の常かもしれません。黛ジュンが雲に乗りたいたと唄ったように、ブラウン管の向こう側でハイジが雲に乗るのを見て「私も乗りたい!」と夢見た方も少なくないのではないのでしょうか。私もよく家の窓から庭先でゆったりと草を食べるマサラ（家畜のヤギ）を眺めては「ああ、ヤギになれたらなあ。」と夢を抱きます。この本の筆者も私と同じように「ヤギになりたい」という夢を抱きました。私との大きな違い、それは筆者が叶わない夢を叶えたという事でした。

人間特有の“悩む”から解放されるためにヤギになる事を目指した筆者は、ヤギを解剖して得たデータから四足歩行器を作ったりヤギの消化器官を再現した調理法で草を食べたりははっきり言って無茶苦茶…。それでも最後にはついにヤギになって自然の中に身を置くのでした。

筆者は叶わない夢に“大人の本気”で挑んでみる事で、夢を見る事を忘れつつある私たちに夢を与えてくれたのかもしれません。夢を抱き続ければ私はヤギになれるし、あなたも黛ジュンやハイジと一緒に雲に乗れる日がやってくる…かもしれませんね。（協会職員・黒島トーマス友基）

＼Youは何しに国流へ？／ 第5回 センターで活動している人をご紹介します☆

私が多文化保育にこにこに関わるようになったきっかけは、9年前何か新しいことを始めたいと思いすてっぷ（とよなか男女共同参画推進センター）の掲示板でボランティア募集の案内を見つけたことでした。

午前中は保育士として勤務していることもあり、やはり保育に関わりたと思ったことに加え、外国語への興味もありましたので参加してみようと思

いました。共に関わるボランティアの方々にも恵まれ、これまで長く続けられています。活動中は言葉や文化を越えた交流を通じて、外国と日本の子どもたちで共通する部分があることを実感できています。

いつも覚えてばかりの日本語で「ありがとうございます」と笑顔で帰っていく子どもたちに癒されています。



多文化保育にこにこボランティア

佐々木さん

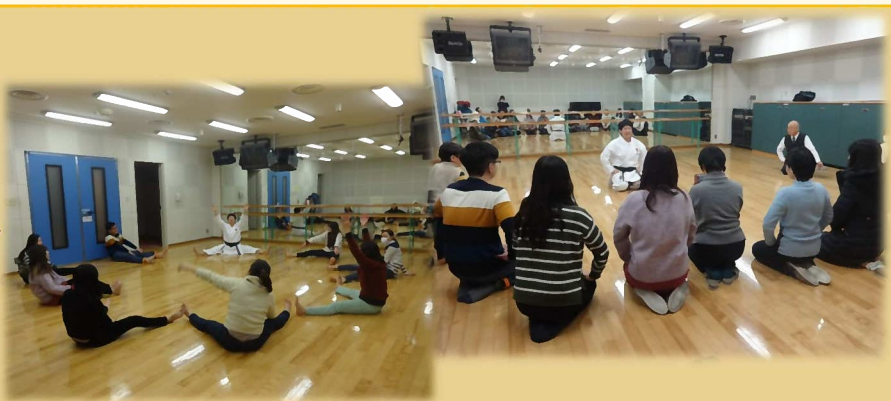


フオトレポート

侍プロジェクト2018

～外国人のための武道体験

その1・空手編～



豊中市スポーツ振興事業団との共催「侍プロジェクト」は外国人の皆さんが日本の武道を体験する取り組みです。

「ハイ！イチ！」「ハイ！ニッ！」先生の掛け声と一緒に手も足もパンチも出ます。2月16日（金）には剣道体験、3月4日（金）には合気道を体験します。

エパスト

EPAST 始まりました！！

日本では2008年から、EPA（経済連携協定）の枠組みで多くの外国人介護福祉士候補者（以下候補者）の受入れが始まりました。豊中においても、現在も多くの介護施設でインドネシアやフィリピンから来日した候補者が活動しています。

昨年12月より、日本語ボランティアの協力を得て介護福祉士候補者のための日本語指導グループ「EPAST（EPA Support TOYONAKA）」を結成し、市内の介護施設と連携して、介護福祉士国家試験対策と共に、業務上の日本語習得および日本語検定試験（N3）のサポートを行っています。

日本語のみならず、候補者が日本で安心して仕事や生活ができるようなサポートを行っていきたいと考えています。



エパストの活動のようす



登録グループの活動紹介



No.5 ホストファミリーグループアミーゴ

——写真に写っていたのはアミーゴのメンバーと、あとは留学生ですか？すごく多いですね。

難波：ほとんど留学生ですね。秋と春に、年2回の受け入れをしています。外国は9月入学の大学も多いので、秋に留学してくる子が多いんです。だから私たちの行事の中には、留学生の歓迎の行事が年間で2つ入っているのです。

——難波さんがホストファミリーに興味を持ったきっかけというのは？

難波：東京にいたときに、ホームステイをしていただけませんかと声をかけてもらうことがあったんです。でもそのときは子どもが小さいし、それから部屋も狭いし、ホームステイは難しいなと思って。それに、そのときは宿泊でない形のホストファミリー制度があるのを知らなかった。その後たまたま蛍池に住んでいたときに、「ハイキングに行くんだけど一緒に行かない？」って誘われました。その頃は年に2、3回、ハイキングにいていたのですが、簡単というので行き始めたのがきっかけですね。

——それは毎年やっているんですね。他にはどんな活動をされていますか？

難波：あとは学生たちのために資金稼ぎをしています。私たちはNPO法人じゃないし、政府からの助成金ももらっていないので、年4000円の会費だけでは足りなくなってしまうんです。それで何かで活動費を稼ぎたいなということでとよなか国際交流フェスタに出店もしています。ほかには池田のお祭りとか、蛍池のお祭りとかにも出店させていただいています。留学生には売子を手伝ってもらったりね。韓国のチヂミを売っているのですが、1度だけチマチョグリを着て売ってくれた留学生がいて、あれはすごく良かったと思

とよなか国際交流センターには、市民による自主的な国際交流活動を支援するための登録グループ制度があります。実際の活動内容や国際交流への思いを伺いました。

います。でもなかなか留学にチョグリを持ってくる子はいないですね。

——活動を続けてこられて、大変だなと思う部分がありますか？

難波：メンバーが少ないんですよ。若返りを望んでいるんだけど、なかなか若い人たちが入ってくれないので。まず健康でなきゃできないし、私たちの活動は割とアクティブなので、それについていけない人は続かないこともありますね。

——今後こういう宣伝で人を呼んでみたい、などのアイデアはありますか？ 今はロコミだと思っていますけど。

難波：楽しいよっていくら伝えても、結局やってみないとわからないですよ。楽しいという気持ちが伝わりきらない部分もあると思います。だからまずはハイキングのような、誰でも参加できるというものを1つ設けています。イベントによっては人数の制限があったりもするので、会員でなければ参加できないものもありますが。ハイキングの場合には別に人数制限もないし、一緒に歩きましょうというイベントなので。そういうの楽しいイベントに1度来てくださいと伝えたいですね。

【活動についての問い合わせ先】

ホストファミリーグループ アミーゴ

06-6853-6549(難波)

活動日時：毎月第2土曜日10:00～12:00

とよなか国際交流センターおしらせ

「こくりゅうだより」第106号(2018年2月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会

〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
阪急宝塚線豊中駅すぐ

開館時間:9:00～21:30(貸室受付は20:00まで・水曜休館)

TEL:06-6843-4343 FAX:06-6843-4375

E-Mail:atoms@a.zaq.jp

WEB:http://www.a-atoms.info/



SNSも随時更新中！

「とよなか国際交流センター」で検索！

